

報道関係者 各位

令和3年10月28日

エイズウイルスの完全排除に繋がる免疫応答の誘導  
～エイズ根治を導くワクチン療法の開発～  
記者発表予定と参加登録のご案内について

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センターの保富康宏センター長らの研究グループは、日本BCG研究所と共同で、カニクイザルを用いた実験により、これまで困難であったエイズウイルスの完全排除を可能とする新しいワクチン技術の開発に成功しました。

当該研究成果につきまして、以下のとおり記者発表を行います。

【研究成果のポイント】

- 抗酸菌由来の強力なアジュバント分子 Ag85B に着目し、これを弱毒エイズウイルスに組み込むことで、強力なアジュバント活性を併せ持つエイズウイルスワクチン(SHIV-Ag85B)の開発に成功しました。
- 当該ワクチンを接種したカニクイザルでは強力な細胞性免疫が誘導され、感染させた強毒性エイズウイルス株(SHIV89.6P)が完全に排除されることが確認されました。
- これまで困難であったエイズウイルスの完全排除を可能とする新しいワクチン技術が開発されたことは、エイズウイルス感染症の完治につながる大きな一歩となることが期待されます。

1. 開催日時：令和3年11月8日(月)14:00～15:30(受付:13:30～)  
(説明:30分 質疑応答:60分)
2. 場 所：パレスホテル東京 2階 「葵東」  
東京都千代田区丸の内1-1-1
3. 内 容：(1)研究成果の概要について  
(2)質疑応答
4. 出席者：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所  
理事長 米田 悦啓  
霊長類医科学研究センター長 保富 康宏
5. 参加方法：参加希望の方は、「本件連絡先」メールアドレスへ、以下の事項を記載のうえ1名ずつお申し込みください。

【記載事項】

- ・ 標題は「記者発表参加希望」と記載願います。
- ・ 本文へ、参加希望者の「お名前(ふりがな)」「勤務先」「連絡先(電話番号、メールアドレス)」「機材(スチールカメラ or ムービーカメラ)」「現地 or WEB」を記載願います。
- ・ 申し込みは **11月4日(木)17時まで** をお願いいたします。  
※ストロボ撮影はご遠慮願います。  
※当日は、会場入口での検温等、新型コロナウイルス対策を講じての開催になりますので、ご協力賜りますようお願いいたします。  
※参加方法にWEBを選択いただいた方は事前にWeb会議システムのアクセス方法をご案内いたします。

本件連絡先  
戦略企画部 板東、藤田  
TEL:072-641-9832  
e-mail:kikaku(@)nibiohn.go.jp  
※(@)を@へ変換願います